

18. 競技上の注意・ユニフォームについて

競技部・規則審判部

ユニフォームについては、2015-バスケットボール競技規則に則ったものとする。

1 ユニフォームの準備について

1. **パンツ・シャツは、必ず淡色・濃色を用意し、各色において同型・同色・同デザイン、全員統一したものとする。同型・同色・同デザインであっても、明らかに素材が異なる場合は不可とする。**

【シャツ】

- ・学校名の記載の有無は問わない。また異なる学校名や都道府県名のみのもので構わない。
- ・Vネック・Uネックが混在したり、異なるメーカーのロゴなどが混在したりすることは認められない。

【パンツ】

- ・パンツの色は、必ずしもシャツと同色でなくてもよい。
2. プログラムで先に記載されているチームが淡色のシャツ（白色が望ましい）を着用する。
プログラムで後に記載されているチームが濃色のシャツ（白色以外の濃い色）を着用する。
 3. ユニフォームには、前と背中の見えやすい位置に、ユニフォームの色とはっきりと区別できる単色の番号をつけなければならない。番号は、0番，00番，1～99番とする。

2 試合にあたっての注意点について

1. ユニフォームの色の変更を申し出る場合は、まず大会事務局へ事前に連絡をすること。
事務局が必要と認めた場合のみ、対戦校に了承を得て許可する。（原則としては認めない）
2. シャツの裾をパンツの中に入れること。（女子はシャツをパンツの外に出すようにデザインされたものを使用してもよい。）
3. ユニフォームの下にTシャツを着用することは認められない。
4. パンツの下に、パンツより長いパンツ様のもの（パンツからはみ出してしまうアンダー・ガーマントやパワー・タイツなど）をはくことは認められない。

下腿部のサポーター（ソックス様のものなど）は、ひざ下までのもの、大腿部のものについてはひざ上までのものでなければならない。

また、本大会においては、**サポーター類の色は問わない。**

5. 装飾品（指輪、ネックレス、ピアスなど）は、試合前に必ずはずす。
髪飾り（リボンやシュシュ、ヘアピンなど）の使用はできない。
入れ墨（タトゥー）は、テーピングやサポーターを用いて隠す。
6. ベンチに入れる人は、最終登録を終え、さらに試合前に提出したメンバー票に記入された人のみである。スタッフ5名（部長、引率責任者、コーチ、Aコーチ、マネージャー）選手15名の計20名とする。また、**引率責任者とコーチ**が試合開始時にいない場合、試合を始めることができない。

◆上記について、**引率責任者が、事前に責任をもって確認をすること。開会式及び試合の際に不備がないよう十分に注意すること。**